

2020年度 決算説明資料

価値創造に向けて進化する
グッド・カンパニーへ

2021年4月28日
伊藤忠食品株式会社

(見直しに関する注意事項)

本資料に記載されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により影響を受けることがありますので、実際の業績は見直しから大きく異なる可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述に全面的に依拠することは差し控えるようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。





1. 2020年度 決算総括・2021年度 計画	・・・P. 3
2. 2020年度 業績説明	・・・P. 7
3. 中期経営計画 取り組み状況・ 2021年度取り組み方針/トピックス	・・・P.17
4. 補足資料	・・・P.25

1. 2020年度 決算総括



2020年度 決算総括（P Lハイライト）



（単位：億円）

	2019年度 実績	2020年度 公表見通し	2020年度 実績	前年 増減額	対公表 見通し 増減額
売上高	6,612	6,700	6,567	△ 45	△ 133
売上総利益	356	351	353	△ 3	+ 2
販売管理費	▲ 312	▲ 304	▲ 303	+ 9	+ 1
営業利益	44	47	50	+ 6	+ 3
経常利益	57	60	63	+ 6	+ 3
特別損益	2	-	▲ 3	△ 5	△ 3
親会社株主に帰属する 当期純利益	39.8	40.0	40.3	+ 1	+ 0



(単位：億円)

	2020年度 実績		2021年度			
	売上比		計画	売上比	前年 増減額	前年比
売上高	※2 6,567	-	※1 6,200	-	△367	△ 5.6%
営業利益	50	0.76%	50	0.81%	△0	△ 0.5%
経常利益	63	0.95%	62	1.00%	△1	△ 1.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	0.61%	※3 41	0.66%	+1	+ 1.6%

※1 2021年度から収益認識基準の適用により、2021年度売上高は当該基準適用後の金額となっております。

※2 2020年度実績に当該基準を適用した場合、売上高は約△500億円の減少となり、6,000億円程度となりますが、営業利益以下については現行から変更ございません。

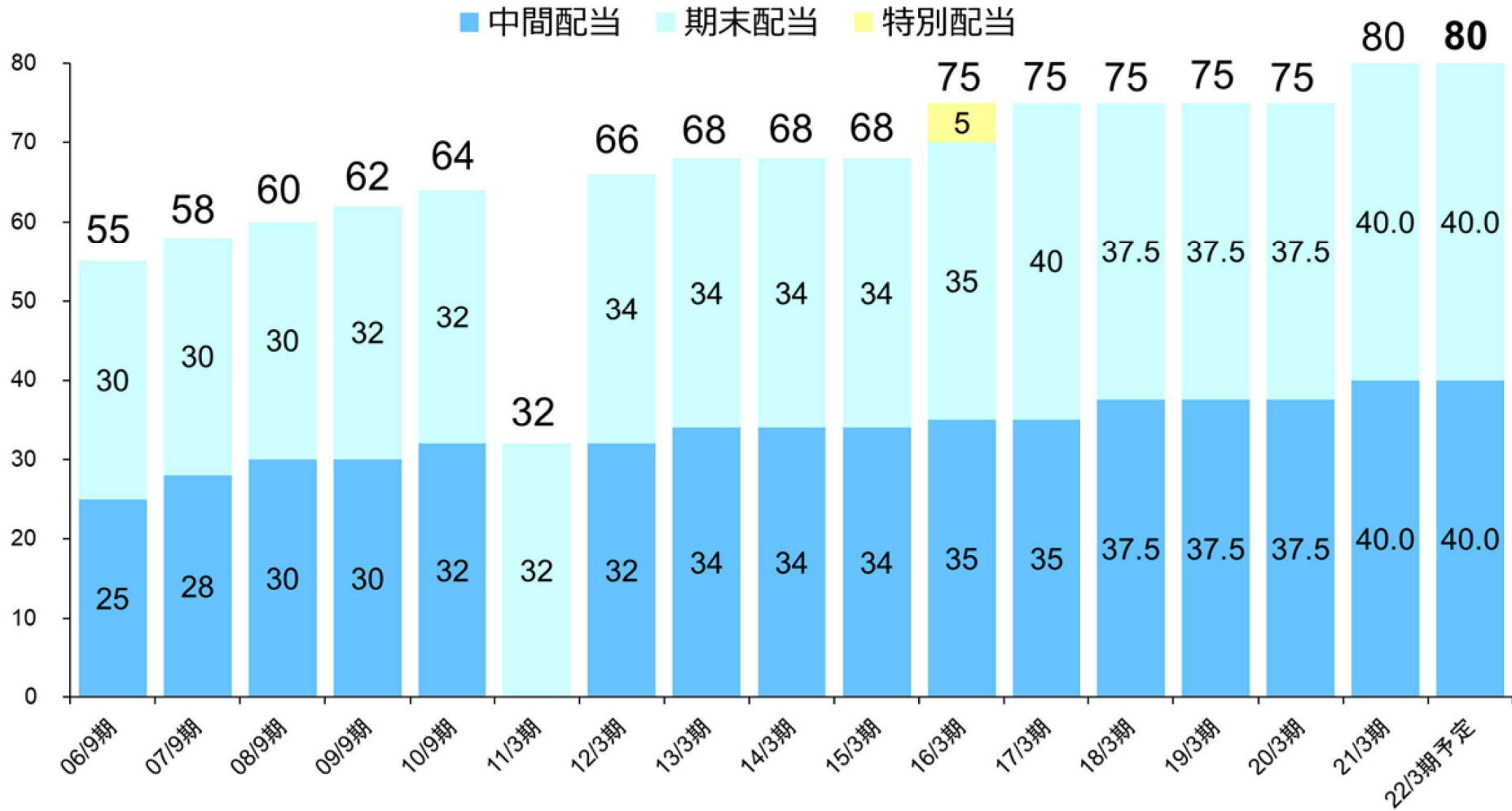
※3 バッファー▲2億円を含む。



株主還元（配当）

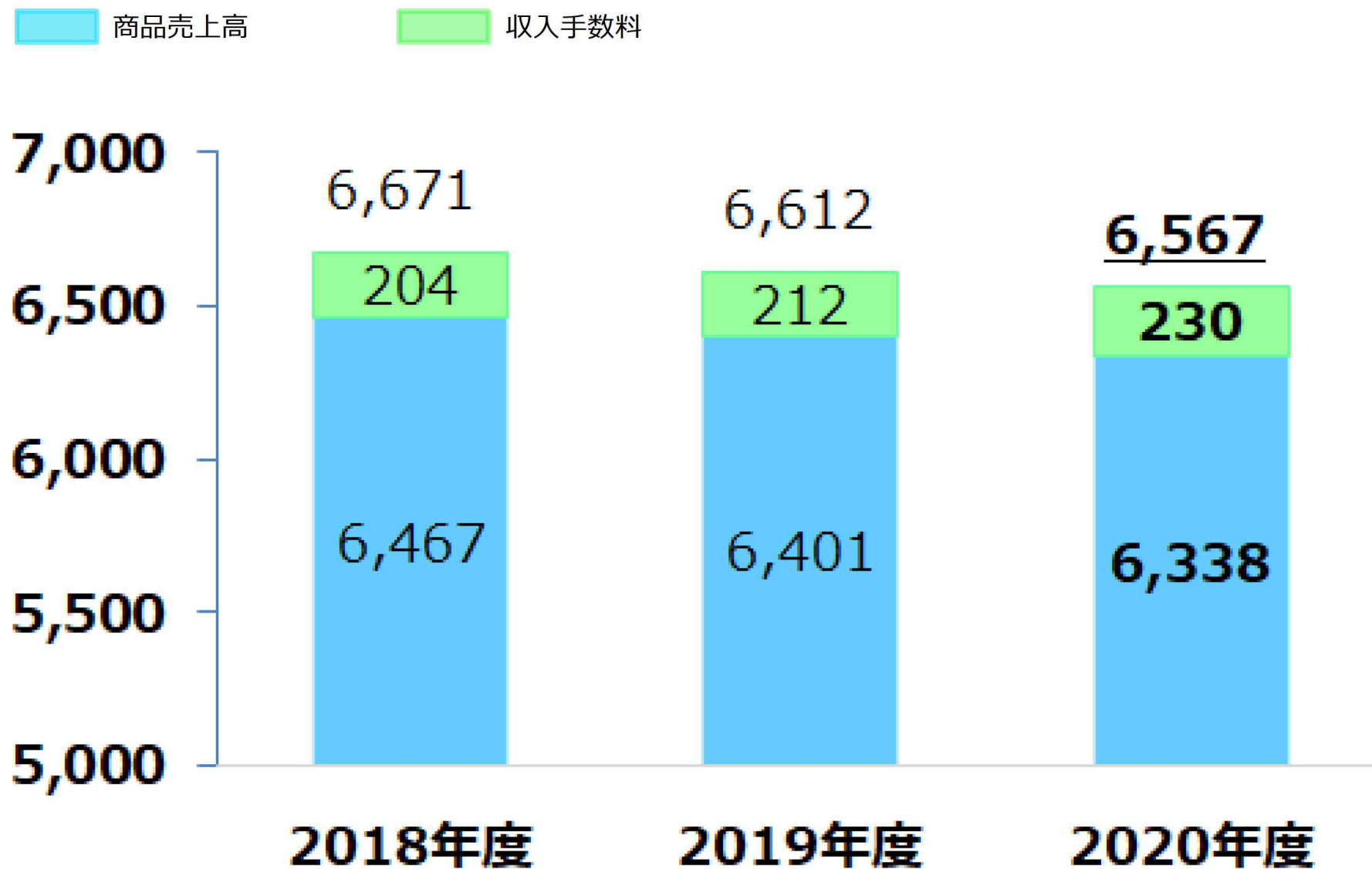


（単位：円／1株）



2. 2020年度 業績説明

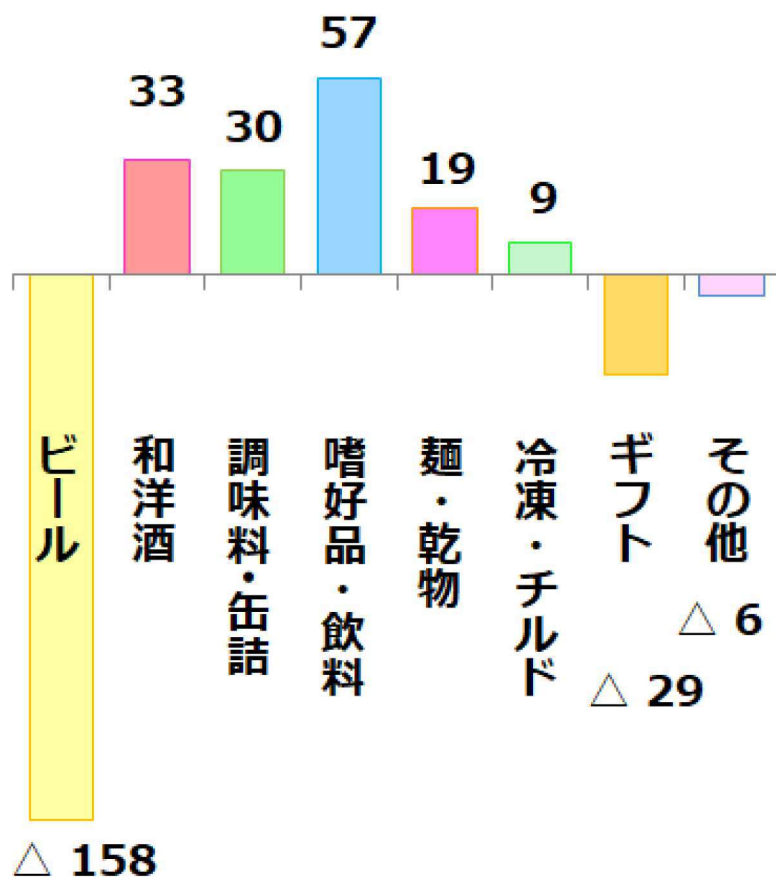
(単位：億円)



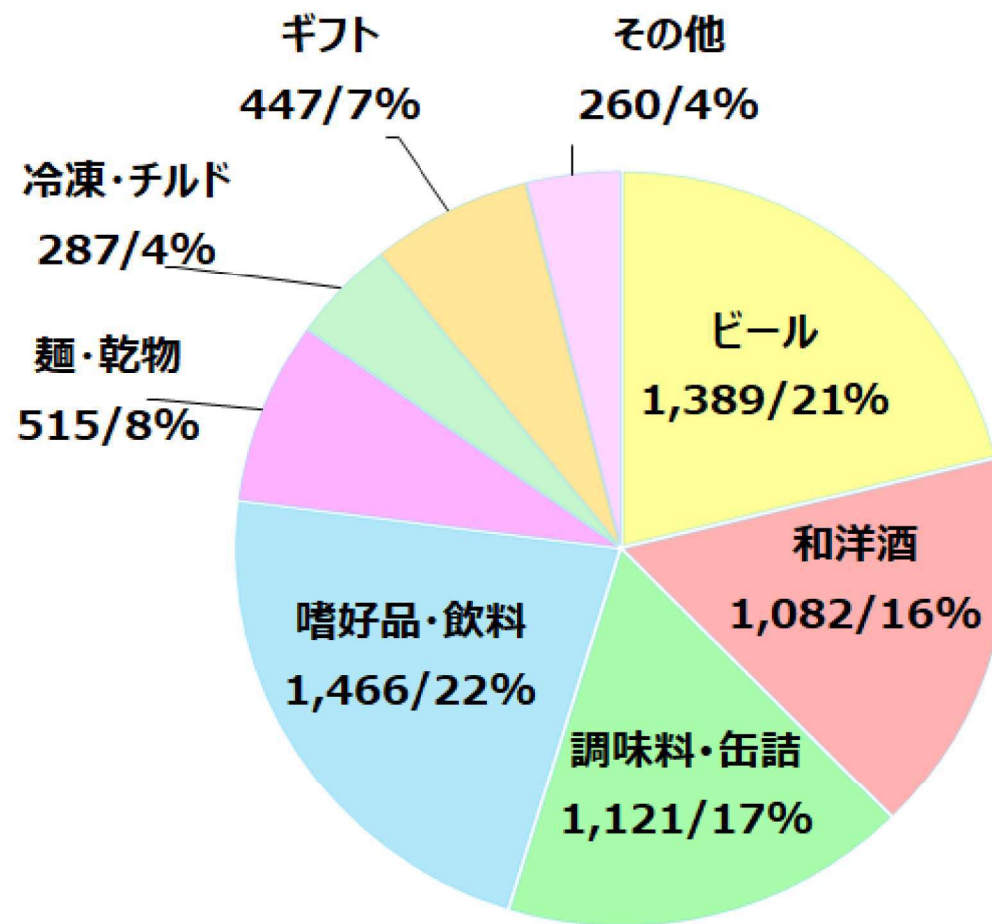


(単位：億円)

商品分類別 売上高増減金額（前年比）



商品分類別 売上高及び構成比



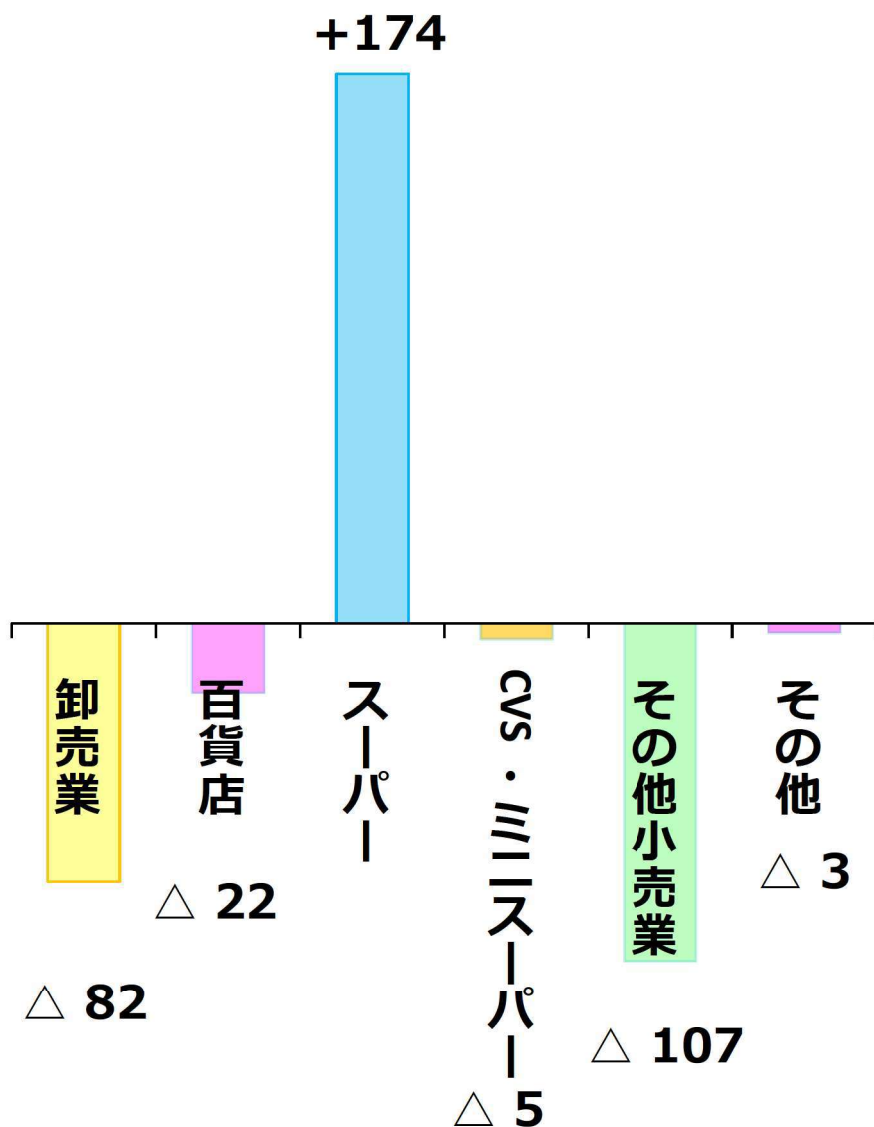
(注) RTDは「和洋酒」に含んでおります。

(注) 発泡酒及びビール風アルコール飲料（第3のビール）の売上高は「ビール」に含んでおります。

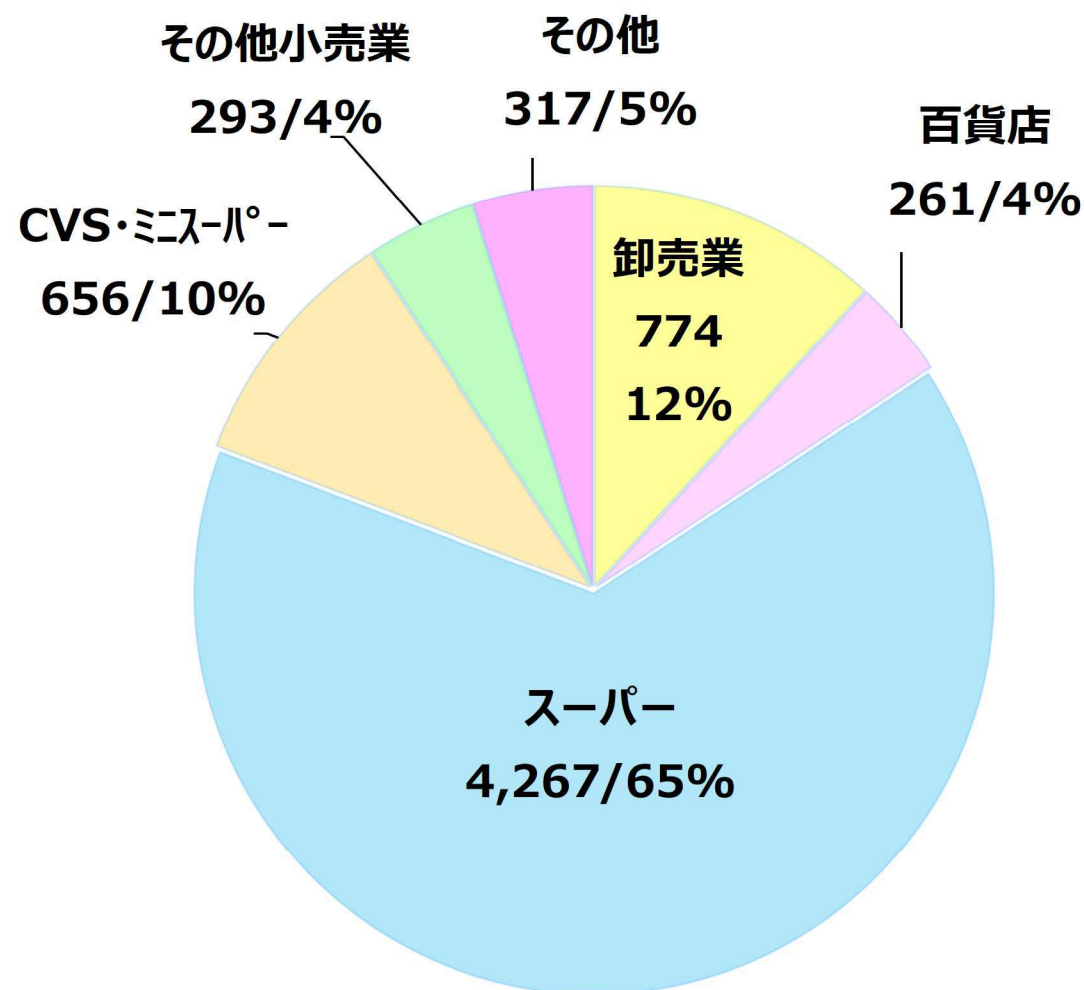
商品分類／売上高(億円)／構成比(%)

(単位：億円)

業態別 売上高増減金額 (前年比)



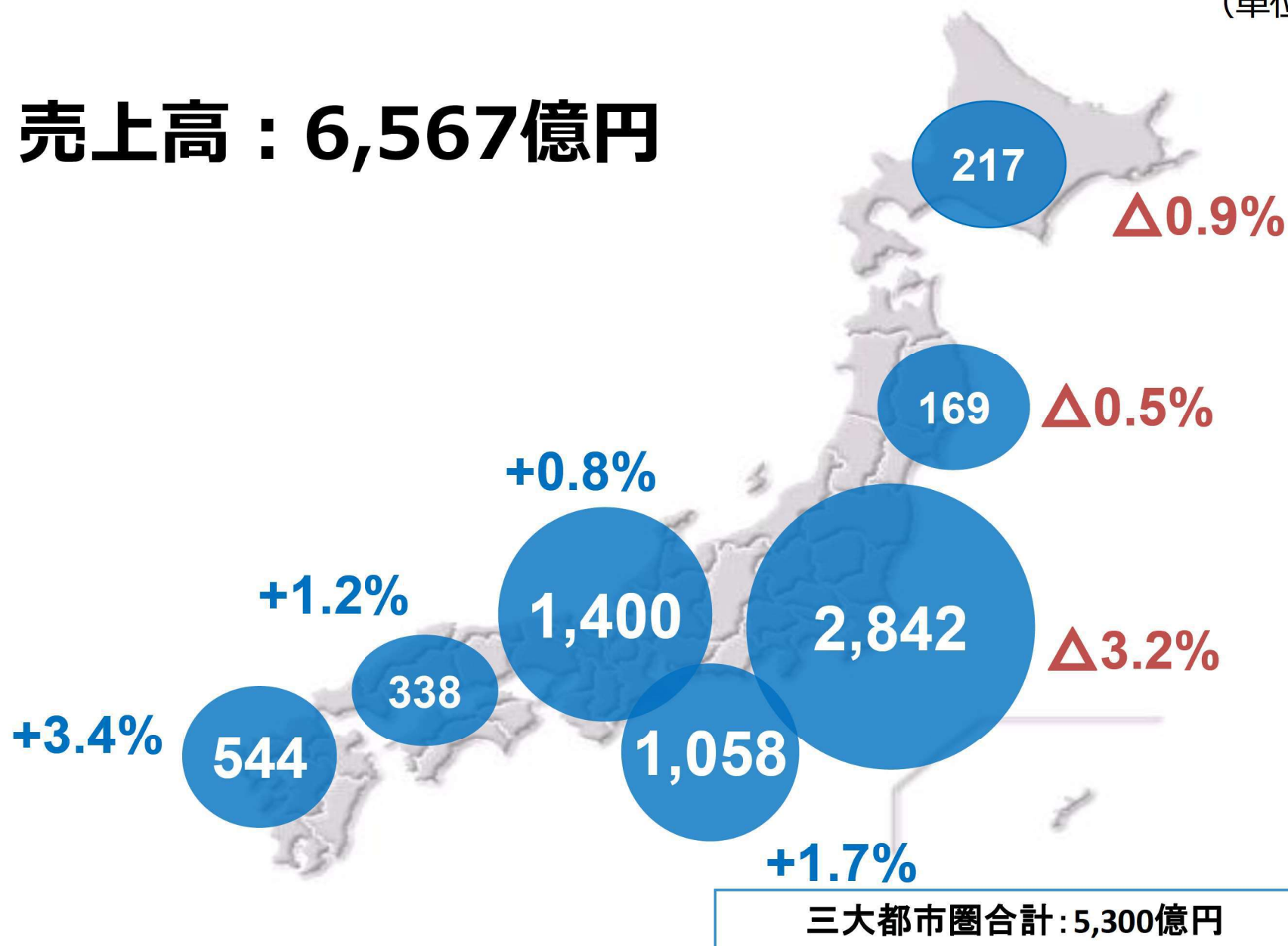
業態別 売上高及び構成比



業態／売上高(億円)／構成比(%)

(単位：億円)

売上高：6,567億円



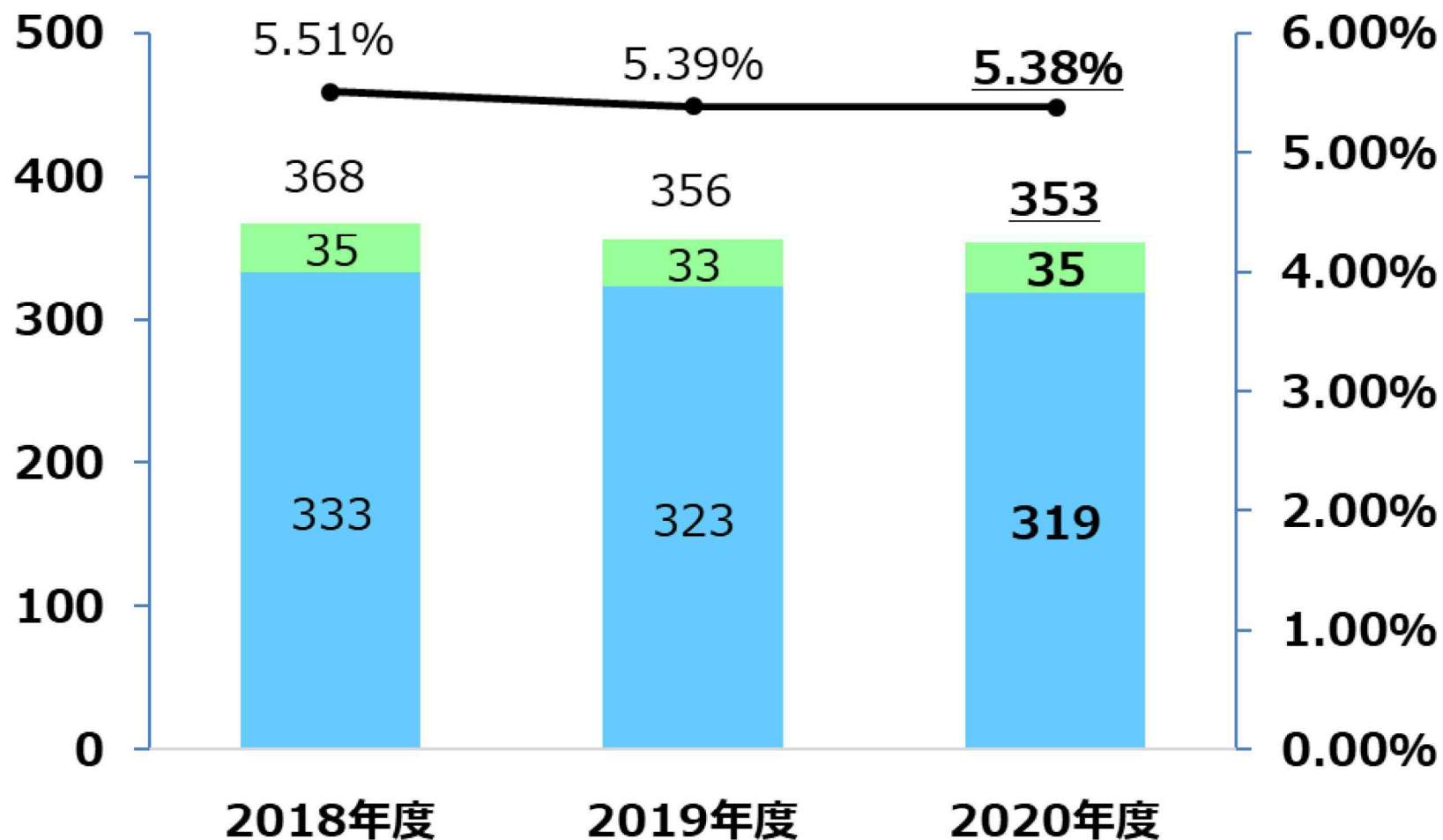


売上総利益



(単位：億円)

商品売上総利益 収入手数料総利益 売上総利益率

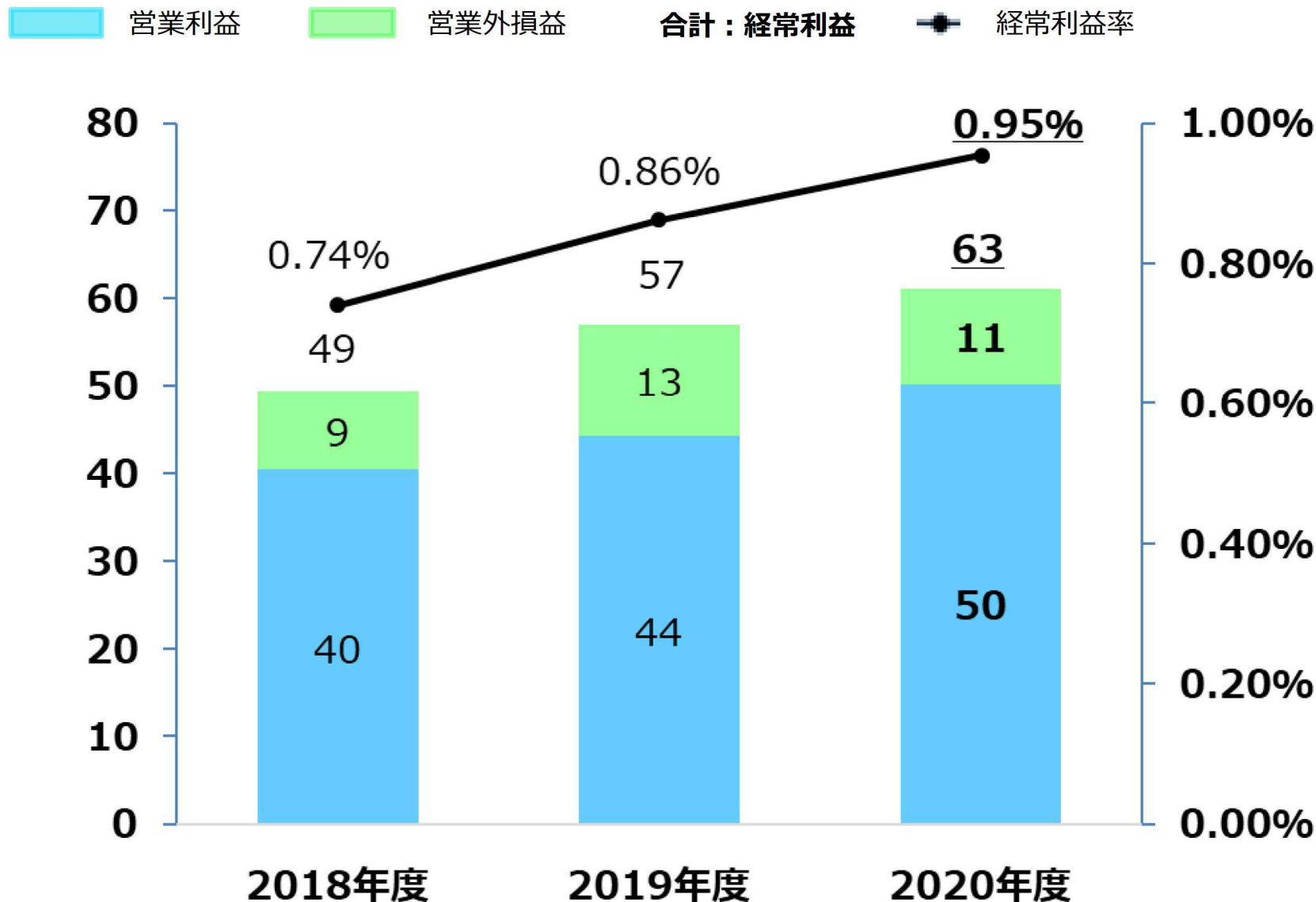




営業利益・經常利益



(単位：億円)





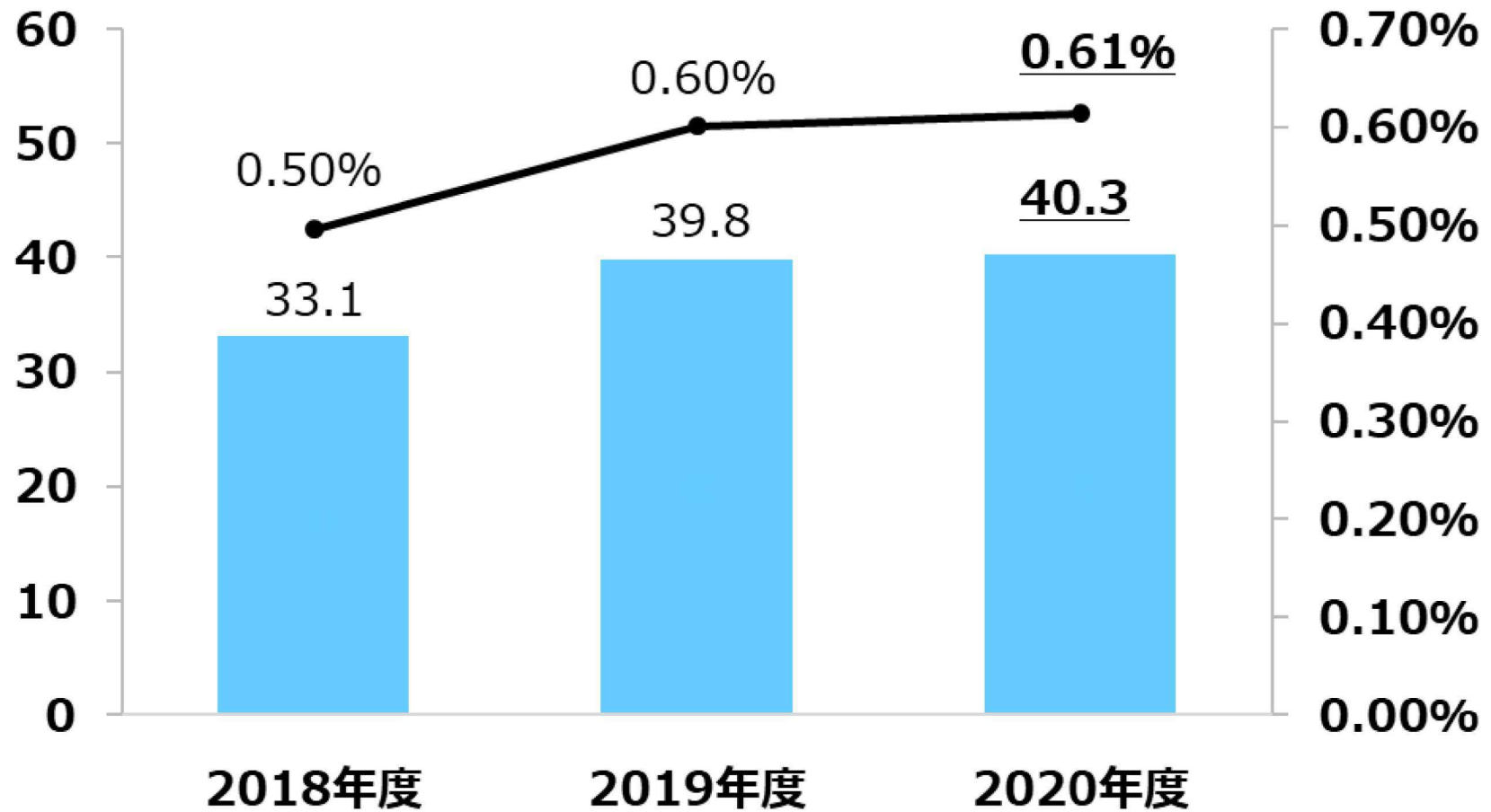
親会社株主に帰属する当期純利益



(単位：億円)

■ 当期純利益

◆ 当期純利益率





(単位：億円)

	2019年度 期末	2020年度 期末	増減額
流動資産	1,665	1,674	+ 9
固定資産	619	638	+ 18
総資産	2,284	2,312	+ 27
負債合計	1,422	1,378	△ 44
純資産	862	933	+ 71
自己資本比率	37.7%	40.4%	2.6%
1株当たり純資産(円)	6,781	7,354	+ 573

(単位：億円)

キャッシュ・フロー	2020年度 実績	主な要因/備考
現金及び現金同等物の 期首残高	108	
営業活動による キャッシュ・フロー	80	税引前当期純利益等
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 145	資金預け入れ、 株式売却等
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 17	配当、リース債務返済等
現金及び現金同等物の 期末残高	26	

3. 中期経営計画 取り組み状況 2021年度取り組み方針・トピックス

- 2020年度は、コロナ禍による様々な影響を受けながらも、収益拡大に向けた基盤構築の年として、『Transform2022』で掲げた各施策を着実に実行。

重点分野

【デジタルサイネージ】

- デジタルサイネージを活用し、消費者起点の売場活性化を推進（メーカー・小売業双方のデジタル販促を後押し、リテールサポート機能を進化）
- WEB展示会を初開催し、デリッシュキッチンのレシピと連動した企画を中心に、オンラインならではの提案を実施

【惣菜】

- 惣菜取引拡大に向け、各エリアで既存取引の強化に加え、販路拡大へ注力
- 液体凍結技術を活用した「凍眠市場」のラインナップ強化
ブランディング施策やデジタルギフトでの展開も開始

【物流】

- コロナ禍による影響が続くなか、サプライチェーンの維持・向上に注力
- 物流改革をスタートし、今後はコスト改善手法の確立・機能強化などのフェーズへ



社会課題 解決への 取り組み

- マテリアリティ（重要課題）を特定
中計重点施策やESG,SDGsと連動し、本業を通じた課題解決の取り組みを推進
- **ダイバーシティ推進室を設立**し、女性活躍推進に向けた具体的施策をスタート
(時代に即した育休復帰プログラムの策定)
- ガバナンスのさらなる充実・取締役会の多様化
(21年6月 **女性取締役を1名⇒2名へ増員予定**)
- 食のライフラインを担う責任を果たすべく、「健康経営宣言」を策定
- 新型コロナ対応：各拠点の感染防止策や、リモートワークなど柔軟な勤務体制を採用し、地域の感染状況を踏まえながら、対応を推進

社会課題解決への取り組み

(環境)

- 環境型社会への取組
 - ・食品ロス・廃棄物削減
 - ・温室効果ガスの排出抑制
 - ・環境保全



(社会)

- 安心安全な食の安定供給
- 労働環境の整備強化
 - ・健康経営推進・業務効率化・デジタル活用
- ダイバーシティ推進
- 物流機能の向上



- (ガバナンス) ■ コーポレートガバナンス強化





全社 方針

- 中期経営計画 最終年度に向けた、成長基盤構築を加速させ、卸のビジネスモデルを『進化』させていく
- 売場の活性化に『消費者起点』で取り組み、製配販連携して、消費者に新価値を届ける

投資 方針

- 既存事業の基盤強化や中期経営計画の重点分野（サインージ、惣菜、物流）、注力事業に資するものに限定



- ギフトカード/デジタルギフトでの展開もスタート
- 冷凍食品専門店「TÖMIN FROZEN」(テクニカン運営) で取り扱い開始

★当社の注力事業の一つである、ギフトカード/デジタルギフトで「凍眠市場」商品の取り扱いがスタート



★凍眠で凍結させた商品だけを扱った専門店 (テクニカン運営)
凍眠市場商品を販売中





■ WEB展示会を初開催（2021年1月～2月） DELISH KITCHENのレシピと連動した、約100とおりの提案を実施



カテゴリーで探す
メーカーを探す
商品を探す
ご依頼カート


≡ MENU

FOOD WAVE 2021 ON-LINE with DELISH KITCHEN

2021.1/18MON ▶▶▶ 2/26FRI

ここから始まる 新しい売場づくり。

コア期間のご案内

好評につき
コア期間第2弾決定！！
2/10（水）10:00～17:00

News

アンケートにお答えいただくと
お土産プレゼント！

 **メインフロアガイド**



2021年春夏トレンド
新しい生活様式に対応した
消費者起点のご提案

2021年春夏売場提案
2021年春夏必見の売場づくりを
様々な視点からご提案

セミナーイベント
SMTSやセミナーのご紹介や
アンケートのご案内

出展メーカー提案
メーカー様による商品のご提案

DELISH KITCHEN
日本最大級のレシピ動画メディア
《DELISH KITCHEN》のご案内

ISC注力商品 COMING SOON R2

セミナーイベント R

2021年春夏トレンド 3

2021年春夏売場提案 2

DELISH KITCHEN 1

ISC 伊藤忠食品

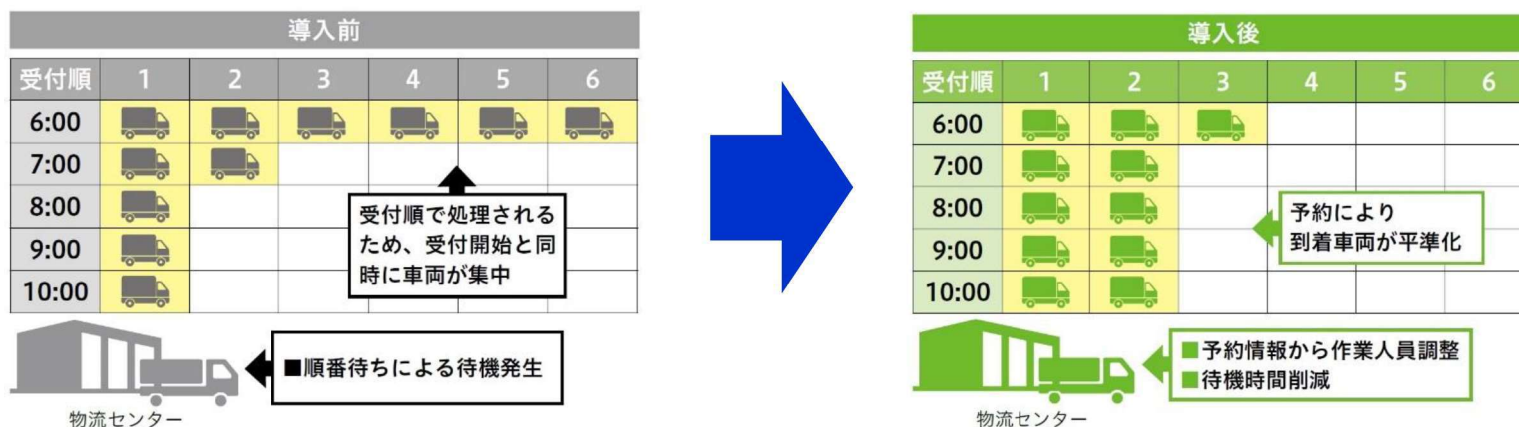


■ 製配販で連携し、食品流通業界の課題解決へ向けた取り組みを推進

■ 車両待機時間削減に向け、オフピーク納品や「トラック入荷受付・予約システム」(N-Torus)の導入推進

N-Torus導入効果イメージ

1



2

- メーカーとの車両相互活用が一部拠点でスタート (21年4月~)
- ⇒ 当社物流センターから小売店舗へ配送する納品車両の帰路を活用
- ・ 小売業と連携し、店舗配送終了後に、近隣のメーカー工場から倉庫への製品輸送を組み合わせることで、それぞれ単独で運行している車両台数を削減する取り組み。

ISC 伊藤忠食品株式会社

4.補足資料

- P. 26 商品分類別売上高
- P. 27 業態別売上高
- P. 28 エリア別売上高
- P. 29 P L 推移
- P. 30 株式状況
- P. 31 会社情報



【連結】

(単位:百万円)

商品分類別	19年度実績	構成比	20年度実績	構成比	前年比	増減額
ビール	154,774	23.4%	138,931	21.1%	89.8%	△ 15,843
和洋酒	104,869	15.9%	108,186	16.5%	103.2%	3,317
調味料・缶詰	109,103	16.5%	112,066	17.1%	102.7%	2,964
嗜好品・飲料	140,863	21.3%	146,607	22.3%	104.1%	5,745
麺・乾物	49,612	7.5%	51,503	7.8%	103.8%	1,891
冷凍・チルド	27,871	4.2%	28,749	4.4%	103.1%	878
ギフト	47,613	7.2%	44,716	6.8%	93.9%	△ 2,897
その他	26,540	4.0%	25,985	4.0%	97.9%	△ 555
合計	661,244	100.0%	656,743	100.0%	99.3%	△ 4,500

(ギフトの内、酒類23,168) (ギフトの内、酒類20,944)



【連結】

(単位:百万円)

業態別	19年度実績	構成比	20年度実績	構成比	前年比	増減額
卸売業	85,590	12.9%	77,382	11.8%	90.4%	△ 8,207
百貨店	28,310	4.3%	26,090	4.0%	92.2%	△ 2,221
スーパー	409,290	62.0%	426,727	65.0%	104.3%	17,437
CVS・ミニスーパー	66,048	10.0%	65,584	10.0%	99.3%	△ 464
その他小売業	39,973	6.0%	29,254	4.4%	73.2%	△ 10,719
その他	32,032	4.8%	31,706	4.8%	99.0%	△ 326
合計	661,244	100.0%	656,743	100.0%	99.3%	△ 4,500



【連結】

(単位:百万円)

エリア別	19年度実績	構成比	20年度実績	構成比	前年比	増減額
北海道	21,900	3.3%	21,694	3.3%	99.1%	△ 206
東北	16,934	2.6%	16,855	2.6%	99.5%	△ 79
関東甲信越	293,546	44.4%	284,203	43.3%	96.8%	△ 9,343
東海北陸	103,989	15.7%	105,783	16.1%	101.7%	1,794
近畿	138,929	21.0%	140,037	21.3%	100.8%	1,107
中四国	33,343	5.0%	33,758	5.1%	101.2%	415
九州沖縄	52,602	8.0%	54,413	8.3%	103.4%	1,811
計	661,244	100.0%	656,743	100.0%	99.3%	△ 4,500



【連結】

(単位:百万円)

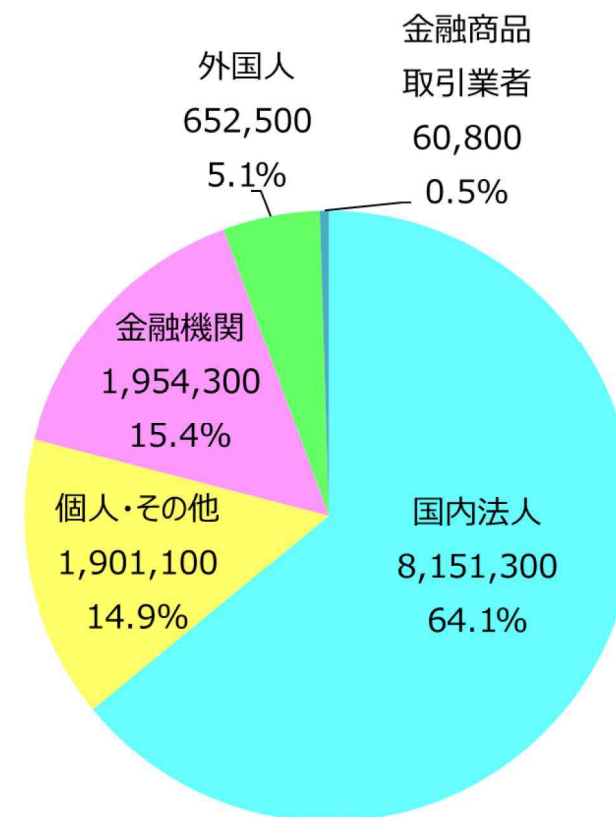
	2017年度			2018年度			2019年度			2020年度		
	実績	売上比	前年比	実績	売上比	前年比	実績	売上比	前年比	実績	売上比	前年比
売上高	660,900	-	104.7%	667,128	-	100.9%	661,244	-	99.1%	656,743	-	99.3%
売上総利益	36,038	5.5%	103.4%	36,782	5.6%	102.1%	35,610	5.4%	96.8%	35,342	5.3%	99.2%
販売管理費	▲31,791	4.8%	102.3%	▲32,739	5.0%	103.0%	▲31,180	4.7%	95.2%	▲30,319	4.6%	97.2%
営業利益	4,247	0.6%	112.4%	4,043	0.6%	95.2%	4,430	0.7%	109.6%	5,023	0.8%	113.4%
経常利益	5,032	0.8%	110.2%	4,943	0.7%	98.2%	5,700	0.9%	115.3%	6,265	0.9%	109.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,031	0.6%	119.5%	3,310	0.5%	82.1%	3,976	0.6%	120.1%	4,034	0.6%	101.4%



◆大株主（2021年3月31日現在）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
伊藤忠商事株式会社	6,620,316	52.18
株式会社日本カストディ銀行 （三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール株式会社退職給付信託口）	815,000	6.42
味の素株式会社	339,129	2.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	311,500	2.46
アサヒビール株式会社	296,500	2.34
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	249,300	1.96
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	218,200	1.72
伊藤忠食品 従業員持株会	137,100	1.08
はごろもフーズ株式会社	87,100	0.69
株式会社日本カストディ銀行（信託口5）	72,700	0.57

◆所有者別 株式分布状況



◆株式の総数・株主数

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 12,720,000株
 株主数 12,412名 （前期末比較 226名減少）



◆概要（2021年3月31日現在）

■商号	伊藤忠食品株式会社
■創業	明治19年2月11日（1886年2月11日）
■設立	大正7年11月29日（1918年11月29日）
■資本金	4,923,464,500円
■従業員数	連結1,189名 個別873名
■事業内容	酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、運送ならびに各種商品の情報提供、 商品流通に関するマーチャндаイジング等を主とした事業活動を展開しています。
■本店所在地	大阪市中央区城見2丁目2番22号 大阪本社 大阪市中央区城見2丁目2番22号 TEL 06-6947-9811 東京本社 東京都港区元赤坂1丁目2番7号 TEL 03-5411-8511
■インターネットホームページ	https://www.itochu-shokuhin.com/

◆沿革

- 1886年 明治19年2月 武田長兵衛商店より洋酒食料部門を譲り受け、洋酒食料品雑貨の直輸出入商および卸問屋業の松下善四郎商店（本社：大阪市）を創業
- 1918年 大正7年11月 松下善四郎商店を改組して(株)松下商店（資本金1百万円 本社：大阪市）を設立
- 1971年 昭和46年3月 (株)鈴木洋酒店（本社：東京都中央区）を合併し、商号を松下鈴木（株）に変更
- 1982年 昭和57年10月 伊藤忠商事（株）（本社：大阪市）と資本・業務提携し、営業および管理機能の強化を図る
- 1996年 平成8年10月 (株)メイカン（本社：名古屋市）と合併し、商号を伊藤忠食品（株）に変更
- 2001年 平成13年3月 東京証券取引所市場第一部に上場（証券コード：2692）